

はしがき  
(地域経済発展の連鎖メカニズムの解明と地域貢献)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2015-09-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 佐藤, 誠二 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.14945/00009131">https://doi.org/10.14945/00009131</a>

## はしがき

本報告書は平成14年度静岡大学学長裁量経費の交付（研究課題「地域経済発展の連鎖メカニズムの解明と地域貢献」研究代表者：人文学部教授・佐藤誠二）を得て行われた研究成果であると同時に、「静岡大学経済研究センター」の研究叢書第1号として公刊される。

今日、地方大学にとって教育・研究に加え、地域の要請に応えて、地域社会との連携、社会貢献をどのように果たしうるのかは重要な課題である。静岡大学人文学部経済学科は静岡地域社会に対して研究・調査の支援機能を果たすことを目指して「静岡大学経済研究センター」を平成14年9月から発足させた。本報告書はこのセンター発足に際して、交付された学長裁量経費に基づき、上記研究課題に対してセンター所員が申請し採択された5つの研究プロジェクトの成果を取り纏めたものである。

いま、本報告書の構成に即して、プロジェクトの内容を紹介すれば以下の通りである。

第一部「ベンチャー企業の経済理論」は、地域ベンチャー企業・中小企業について、その開業に際してのファイナンス（資金調達）問題（第1章）並びに技術革新と経済パフォーマンスの連関（第2章）についての理論的考察を試みた「ベンチャー企業に対する経済理論的考察」プロジェクトの成果である。第二部「地域経済の変容」においては、地域社会のグローバリゼーションを念頭に、静岡県内外資系企業の工場設立条件及び県内市町村における外国人労働者に対する対応状況に関するアンケート調査内容を検討した「グローバリゼーションと“内なる国際化”」プロジェクトの研究成果（第3章）、また、地域金融機関のリスク管理のあり方が地域経済と中小企業の成長に及ぼす影響について分析した「地域金融機関の信用リスク評価と中小企業金融との関係」プロジェクト成果（第4章）を収録した。第三部「地域経済の課題」では、「少子・高齢社会における労働・生活と健康に関する社会統計的調査研究」プロジェクトの一環として、地域住民の健康問題の背景にある労働関連要因と生活習慣要因に対する統計的調査研究の成果報告（第5章）、目下の地域におけるホットな話題である市町村合併と地方交付税との関係について自治体の具体的事例の中からその構造的問題を析出した、「市町村合併と地方交付税改革」プロジェクトの成果報告（第5章）が掲げている。

プロジェクト採択と研究経費の交付が10月まで遅れた経緯のため、研究分担者諸氏には半年というきわめて短期間のうちに報告書の作成をお願いする羽目になってしまった。また、そうした関係から、以上の成果報告は5つのプロジェクトの中間報告という性格を持たざるを得なかった。しかし、取り上げたすべてのプロジェクト課題は地域社会が現在、抱え、そして、

大学と地域社会との連携が強く求められる重要な研究課題でもある。今後、プロジェクトを継続して、さらに深みある成果を公表することとしたい。

また、本センター研究叢書の発刊の目的は大学における教育研究を地域社会との関係の中で捉え、さらには大学の地域経済研究機関が社会貢献を果たすべき今後の方向を検討するうえでの一助となることにある。その意味からも、本報告書を今後の大学における地域研究のあり方を考える上で、いささかなりとも参考としていただければ幸いである。

なお、いうまでもなく本報告書の成果は各研究担当者がそれぞれの責任において執筆したものであるが、原稿の全体の取りまとめや調整については、センターの設立準備委員でもある山下隆之助教授による貢献が大きい。ここに記してお礼申し上げたい。

平成15年3月

研究代表者

経済研究センター設立準備室長・教授 佐藤誠二